

2025年4月16日

各位

大和エネルギー・インフラ株式会社
テスホールディングス株式会社

テス・エンジニアリングとの工事請負契約締結について ～系統用蓄電池案件で初の協業～

大和エネルギー・インフラ株式会社（以下、「DEI」）が出資するDEI バッテリーファンドアルファ合同会社（以下、DEI バッテリーファンドアルファ）と、テスホールディングス株式会社の連結子会社であるテス・エンジニアリング株式会社（以下、「テス・エンジニアリング」）は、DEI バッテリーファンドアルファが熊本県球磨郡錦町において開発する系統用蓄電池案件^{*1}（以下「本案件」）に関する工事請負契約（以下「本契約」）を締結しました。

本案件は、出力約25MW、容量約100MWhの大型系統用蓄電池案件で、2027年12月の完成を目指し、建設工事を進めていく予定です。

世界的にエネルギーの脱炭素化が進む中、日本においても再生可能エネルギーの普及が進んでおります。このような状況の中、再生可能エネルギーの有効活用及び電力供給の安定化の観点から、再生可能エネルギーの出力変動に応じて柔軟に充放電のできる蓄電池の重要性が高まっており、今後更なる普及促進が見込まれております。

DEIは、大和証券グループのアセットマネジメント部門における再生可能エネルギー・インフラ分野への投資を担う会社として、国内外の太陽光発電所や風力発電所等の再エネ発電所に幅広く投資しており、2024年3月時点で1,700億円程度の投資残高を積み上げております。蓄電池分野では2023年に北海道において大規模な系統用蓄電池事業への投資^{*2}を実行し、太陽光発電所併設の蓄電池案件を2024年2月に運転開始^{*3}する等、幅広く先駆的な投資活動を行ってまいりました。本案件については、国軒高科の日本法人である国軒高科日本株式会社が出資する特別目的会社と、DEI バッテリーファンドアルファが、2025年2月20日に権利譲渡契約を締結し開発を行ってまいりました。^{*1}

テス・エンジニアリングは、創業以来一貫して省エネ・環境対策に取り組むエンジニアリング会社として事業を拡大してきたほか、2012年以降、FIT制度^{*4}を活用した大規模な太陽光発電所等の再エネ発電所の開発にこれまで500MW以上取り組むことで、再生可能エネルギー発電所の開発・建設に係るノウハウを蓄積してまいりました。また、蓄電池関連としては、TESSグループ中期経営計画「TX2030」^{*5}において、蓄電システム関連事業を注力事業分野の1つと定めており、これまでのノウハウ等も活かしながら「系統用蓄電所の開発」や「FIT太陽光のFIP転+蓄電池併設」等の取り組みを積極的に進めております。

今後、DEIとテス・エンジニアリングは系統用蓄電事業を通し、更なる再生可能エネルギーの有効活用及び電力の安定化に貢献してまいります。

本案件の概要

事業者名	DEI バッテリーファンドアルファ合同会社
所在地	熊本県球磨郡
システム内容	系統用蓄電池 出力：24,890kW、容量：100,300kWh（国軒高科製）
完成時期	2027年12月（予定）

※1 熊本県の系統用蓄電池事業について：<[20250307.pdf \(daiwa-ei.jp\)](#)>

※2 大規模系統用蓄電池事業について：<[20230929.pdf \(daiwa-ei.jp\)](#)>

※3 鹿児島県の太陽光発電所に蓄電池を併設し運用を開始：<[20240227.pdf \(daiwa-ei.jp\)](#)>

※4 FIT 制度：

「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法」に基づき、太陽光、風力、バイオマス等の再生可能エネルギーで発電した電力を電気事業者が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度

※5 TESS グループ中期経営計画「TX2030」：<[00.pdf \(eir-parts.net\)](#)>

大和エネルギー・インフラ株式会社

URL: [大和エネルギー・インフラ株式会社 \(daiwa-ei.jp\)](#)

(ご参考) 大和証券グループのサステナビリティに関する取組：

[サステナビリティ | 大和証券グループ本社 \(daiwa-grp.jp\)](#)

以上